

地域の子どもにおはなしを届ける、読み聞かせボランティアの育成

ねらい

最寄りの小学校に読み聞かせボランティアが入っていないことを知り、図書室業務担当として主催事業を企画した。

- ・地区の小学校に読み聞かせボランティアに行くことができる
- ・自館でのおはなし会開催を担える

人材の育成

経緯

令和元年～4年度に行った「絵本読み聞かせサポーター講習会」から、読み聞かせボランティアサークル「おちのこおはなし会」が令和4年に8名で発足した。

講座内容

「絵本読み聞かせサポーター講習会初級」

（令和6年6月2・16・30日 全3回、参加：13名）

引き続き一緒にボランティア活動をしてもらえる方を求めて開催した。4名がおちのこおはなし会に加入した。



参加者の声

絵本の持ち方、めくり方から始まり、具体的に教えて下さりとても参考になりました。今後のボランティア活動で活かせます。地域の公民館でこんなステキな講座が開かれていることに驚きました。本の種まきですね！読み聞かせの時に絵が語るのだと分かりました。幸せな3日間でした。

「わらべうた講座～肉声もたらす繋がり～」

（令和7年6月1・8・15日 全3回、参加：15名）

おはなし会を会員だけの力で開催出来るように、わらべうたのスキルを身に付けるべく開催した。一般からの参加も二人いた。



参加者の声

- ★手や体にふれる距離感やふれ合い方が、心をやさしくしてくれました。子どもに必要なことだと思いました。
- ★楽しく笑いながら学べて有意義な時間だった。大人の脳トレにも使えるかも（?!）

成果

「越智小学校朝読書『公民館読み聞かせ』」

（令和7年5月21日～令和8年3月4日 全17回予定）

千葉市立越智小学校の1・2年生と特別支援級で読み聞かせをしている。前年度末に今年度の年間日程計画を学校と相談し、読む本も講師と予め計画し練習している。



「おたのしみおはなし会」

（令和7年7月31日 2部制、参加：のべ14名）

6月のわらべうた講座を活かし、会員がわらべうた「くまさん」を行い、パネルシアターや参加型絵本も取り入れた。



参加者の声

- ★あながすとあひるがおもしろかった
- ★いろいろなお話があって、楽しかったです!!

まとめ

講座で学んだことを活かし、集団への読み聞かせに適した本を、地域の子どもに手渡すことができている。小学校の保護者ではない公民館講座の受講者が、学びを地域に還元していることが特色である。また、子どもとの触れ合いでおちのこおはなし会のメンバーも喜びを得ている。

課題

講座の講師陣がサークルの定期活動に参加し読み聞かせのアドバイスをして下さるので、質の向上に繋がっている。今後も、会員が「読み聞かせの本質」を共通理解し、維持していくことが課題となる。